

# 建設請負業者向け環境・安全衛生管理指針

---

## 建設請負業者の環境・安全衛生管理に関する同意書

私は本同意書をもって、当社の建設請負業者および従業員に代わり、下記の条件を承諾し、これに同意します。

1. Teradyne Inc. (以下、「テラダイン」という) より、作業、または建設請負業者およびその代理人、従業員もしくは代表者が勤務する、あるいは配属される作業場に係る労働環境について、危険の内容を含めた説明と指示を受けました。
2. テラダイン建設請負業者向け安全管理指針を確認し、本指針に記載されるすべての規則と規制を一読したうえで、常にそれに従い、また、建設請負業者の代理人、従業員もしくは代表者全員にもこれを一読させ、遵守させることを承諾します。テラダインが定める建設請負業者の契約条件は、あらゆるテラダイン安全規則、規制または基準に従って安全に作業することである旨を理解しています。
3. かかる建設請負業者の代理人、従業員および代表者全員に対し、かかる条件や危険についての周知を図るとともに、適切な安全対策を講じるよう既に指導済みであるか、あるいは今後速やかにこれを行うものとします。
4. かかる建設請負業者の代理人、従業員および代表者全員に対し、正常に機能する必要かつ適切な保護衣および保護具をすべて支給し、その使用方法について既に指導・研修済みであるか、あるいは今後速やかにこれを行うものとします。
5. 代理人、従業員および代表者の服装および設備に関する要件を含め、必要な手順を整備します。かかる代理人、従業員および代表者全員が保護衣および保護具の使用に関する要件を遵守し、また、安全規則および規定を厳守するよう適切に監視するものとします。
6. 私は、作業の適用範囲および契約書記載の作業を遂行するにふさわしい経験と十分な能力を有しています。また、作業を安全に執り行い、かつ常に本指針、政府が定めるすべての適用法令、さらには地方条例に従って遂行するうえで必要なライセンス、許可、登録、保険を取得しています。

---

建設請負業者名または代表者氏名 (記入してください) 署名

---

会社名

---

日付

## **適用範囲**

本書は、Teradyne Inc. での作業を遂行するにあたってテラダインのすべての建設請負業者、その従業員および下請け業者が遵守すべき最低限の環境・安全衛生規則と基準を定めることを目的としています。本書はそれ自体が地域および国の規制で定められる遵守の責任を変更または決定するものではありません。規制、その解釈および施行方針は今後変更される可能性があります。建設請負業者は、それに関連する遵守要件を判断するにあたって、指示を仰ぐ責任があります。

建設請負業者はそれぞれ、テラダイン建設請負業者向け環境・安全衛生管理指針の該当する規定について、従業員および下請け業者に対し研修を実施する責任を負うものとします。

ご不明な点がありましたら、テラダインの代表者、テラダイン経営陣、テラダインの環境・安全衛生 (EHS) 部門までお問い合わせください。

本指針は、テラダインの施設、事業所または敷地内で作業する各建設請負業者に提供されます。建設請負業者は自己責任の下、本指針に記載されるすべての規則と規制を一読し、常にそれに従うとともに、建設請負業者の代理人、従業員もしくは代表者全員に対してもこれを一読させ、遵守させるものとします。

### テラダイン安全原則

原則：

- 当社は、怪我または疾病を招く可能性のあるすべての事故の防止に努めます。
- 個人の自己責任の下で安全に配慮するものとします。
- 事故を防止するためには、個人の行動が最も重要です。
- 当社は各建設請負業者に安全な作業を期待し、これを義務付けています。
- 当社は緊急時に備えた対策を行っています。

### 施設内への立ち入りとアクセスに関する規則

すべての建設請負業者は、作業を行うテラダインの事業所で受付をしなければなりません。その際、請負作業についての連絡窓口であるテラダインの担当者に連絡を取るものとします。かかる担当者の付き添いがいない場合、身元調査と建設請負業者バッジの発行を受ける必要があります。

建設請負業者には、Teradyne, Inc. の規則と手順、あるいはテラダインのセキュリティ部門または担当者の指示に従うことが求められます。これに従わない場合、テラダインの建物内への立ち入りが拒否される、建物や作業場からの立ち退きが求められる、またはテラダインの事業所における現在の、あるいは将来的な作業の請負がなくなる、といった事態を招く恐れがあります。

**エリアおよび非常用設備** - テラダインでは、すべての通路、扉、消火器、防火用毛布、消防ホース、担架、緊急用洗眼器、緊急用安全シャワー、固定式はしごまたは階段、電気スイッチ、配電盤、パネルボード等の非常用設備およびエリアを常に空けておき、すぐに利用できる状態にしておく必要があります。

**清掃** - 施設内は常に廃棄物やごみのない状態に保つ必要があります。作業期間全体を通じて、作業エリアとその付近のごみはすべて廃棄し、また、作業エリアはテラダインの担当者が満足する水準まで清掃し整理整頓しておかなければなりません。

**遵守** - テラダインでの作業期間中、建設請負業者は、本指針の要件と国が定めるすべての適用法令、さらには地方条例を常に遵守する責任を負います。

**環境・安全衛生** - いかなる作業も、環境、ならびにテラダインの施設で働くすべての人の安全衛生に配慮して行う必要があります。

**有害廃棄物** - 敷地内で生じたすべての有害廃棄物は適切に処分する必要があります。事業所毎の処分方法については、テラダインの担当者より説明があります。

**ISO 14001** - テラダインでは、一部の施設において ISO 14001 の認証を受けています。ISO 14001 認証施設で作業する場合は、環境方針について承知し、その内容を一読する必要があります。テラダインの担当者より、当該方針の写しが支給されるか、あるいは当該方針が掲載されている場所についての説明があります。また、個人の活動が環境に及ぼす影響やその影響を軽減するため施設内で実施されている対策についても理解する必要があります。

**安全データシート (SDS)** – SDS には敷地内に持ち込むすべての化学物質を掲載し、作業開始前にテラダインの担当者に提出しなければなりません。

短期・長期を問わず、頭上の収納棚にごみ、工具、備品、パイプ等を保管することは禁じられています。浮遊物やごみを頭上のエリアやつり天井パネルの上に放置してはいけません。

**事故や危険事象の報告** - 事故やニアミス/危険事象が生じた場合は、負傷者の有無にかかわらず、テラダインの担当者まで速やかに報告する必要があります。

**緊急事態の報告** - 火事、洪水、化学物質の流出、深刻な負傷といった緊急事態が生じた場合は、テラダインの担当者まで電話にて速やかに報告する必要があります。その際、問題の内容、報告者の氏名、事業所、その他事象に関連する情報を伝えます。必要に応じて、建物の階数、部屋の名前、部署名、部署番号やその他の識別情報を知らせることが重要です。

**工具と装置** - 建設請負業者は作業に使用する工具と装置を持ち込むものとします。ただし、事前承認があれば、必要に応じてテラダインの工具を使用することも可能です。

**有害物質の保管** - 引火性液体物、有毒物質、腐食性物質は該当する規制上の要件とテラダインの要件に従って保管しなければなりません。いかなる場合でも、有害物質は、テラダインの担当者への事前通知と当該担当者による承認なしに、1 日の作業で使用する必要量を超えて建物内に保管することはできません。保管要件はテラダインの担当者が定めます。

**警告標識とバリケード** - 作業員にとって危険な作業の伴うエリアでは、無許可での立ち入りを確実に防ぐことのできる場所に警告標識とバリケードを設置する必要があります。

**作業員の行為** - 大騒ぎ、けんか、ギャンプル、性的嫌がらせ、銃器やアルコール飲料、違法薬物の所持または使用は固く禁じられています。

## 緊急時および災害時の対応手順

いかなる緊急事態に際しても、建設請負業者は電話機あるいはその付近に掲示されている電話番号に連絡するか、テラダインの代表者から指名された者に報告するものとします。

建物からの避難やその他の緊急事態が起こった場合に備え、建設請負業者は建物の避難計画を十分に把握し、然るべき対応が取れるよう準備しておく必要があります。

建設請負業者は建物の非常口と集合場所を確認しておくものとします。

## 有害物質と情報提供

従業員が勤務中に危険にさらされるような事態が生じた場合、建設請負業者はその旨をテラダインに通知しなければなりません。また、テラダインは建設請負業者に対し、作業中に接触する物質のうち、有害な可能性のあるものについて情報を提供します。作業場に化学物質を持ち込む場合、建設請負業者はその化学物質の SDS の写しを提出する必要があります。また、テラダインの担当者からも、建設請負業者の作業エリアに関連する SDS を提供します。

- ◆ すべての化学物質は、開放型の床ドレンから離れた場所で保管し、使用しなければなりません。化学物質が下水道や土壌に流れ出る可能性がある場合は、二次的な封じ込め設備を使用する必要があります。
- ◆ テラダインが承認していない化学物質を敷地内で使用することはできません。

- ◆ すべての化学物質は密閉容器で保管しなければなりません。
- ◆ 有害物質は責任をもって取り扱い、意図的に環境へ放出してはいけないものとします。
- ◆ 化学物質を含むガス - 化学物質を含むガスを生じる恐れのある作業 (エポキシ塗料を使った塗装、溶剤の塗布、化学薬品による床のストリッピング等) を行うにあたっては、適切な排気装置および処理方法を準備し、テラダインの担当者に通知する必要があります。
- ◆ 容器/ラベル付け - すべての有害物質は適切にラベル付けした容器に密閉しておく必要があります。
- ◆ 流出の報告 - いかなる物質の流出も責任をもって取り扱い、速やかにテラダインの担当者と (該当する場合は) 施設側に報告しなければなりません。

## ガスボンベ

- ◆ **ボンベ** - ガスボンベは指定されたエリアに保管し、作業終了後に廃棄する必要があります。ガスボンベはバルブキャップをしっかりとはめ、常に真っ直ぐに立てた状態で (ワイヤーやチェーン、ひもで) 固定しておかなければなりません。

## 立ち入り制限区域への立ち入り

- ◆ **立ち入り制限区域への立ち入り** - すべての立ち入り制限区域には立ち入り許可が必要です。立ち入り制限区域に関する研修を受けていなければ、立ち入ることはできません。したがって、建設請負業者は自社のスタッフに立ち入り禁止区域への立ち入りに関する研修を実施し、許可証を発行する責任を負います。

## 電気に関する安全対策

- ◆ **電気技師** - 通電した電気設備で作業する場合、テラダインの担当者に作業開始と終了の連絡をする必要があります。適切な個人用保護具 (PPE) をすべて使用しなければなりません。
- ◆ **出力試験** - 新しい電源設備や装置の取り付けに際しては出力試験を実施する必要があります。最初の取り付け時に試験と通電が行われる配線系統 (モジュール式のオフィス家具) に関しては、この要件の対象外です。通電しているものの試験が完了していない電気設備については、建設請負業者がロックアウトの手順を講じる必要があります。

## 防火対策

- ◆ **避難手順** - 現場での作業を開始する前に、建物内の配置図と非常口を確認し、把握しておく必要があります。
- ◆ **火災報知器** - 現場での作業を開始する前に、施設内に設置されている各種火災報知手段を確認し、把握しておく必要があります。テラダインの担当者、または建物所有者や管理会社の許可なしに、火災報知システムをオフにすることはできません。
- ◆ **消火器** - もしテラダインの消火器を使用する必要がある場合は、使用済みの消火器をテラダインの担当者に渡し、再充電や交換を依頼する必要があります。その際、使用した状況を説明しなければなりません。
- ◆ **スプリンクラー装置** - 建設資材やその他の設備を火災用スプリンクラーのパイプや弁、支持材の上に置いたり、吊るしたりしないものとします。テラダインの担当者による許可なしに、スプリンクラー装置をオフにすることはできません。

## 落下対策

### 総則

- 落下の可能性がある高さ 6 フィート (約 180cm) 以上の場所で行うすべての作業には、落下対策が必要です。

#### バリケード、標識、床面の穴

- 建設区域と作業エリアは、ロープやテープなどの分かりやすい目印を使って線引きをし、明確に示す必要があります。
- 作業中の危険を知らせる標識も使用しなければなりません。これには、騒音、穴や溝、可燃物、ヘルメット、その他の危険を示す標識が含まれます。また、テラダインの従業員に起こりうる危険を知らせ、建設請負業者の従業員に作業場における危険を周知させるための標識を目立つ場所に掲示する必要があります。
- 作業エリアはバリケードで封鎖し、好奇心から近づく通行人や作業エリアを通過して近道をしようとする人が立ち入るのを防ぐ必要があります。
- 床面の穴や隙間はすべて適切に覆うか、近づけないようにガードしてください。その際、バリケードと標識を設置する必要があります。

### 巻き上げおよび昇降作業

- ◆ **昇降装置** - 昇降装置とは、あらゆるタイプのクレーン、ホイスト、架空リフト、昇降機、フォークリフト、電動ハンドリフトを指します。作業遂行上こうした昇降装置を使用する必要がある場合、建設請負業者は関連当局から必要な許可をすべて取得し、要望書を作成して、テラダインの担当者から承認を得る必要があります。
- ◆ **Teradyne Inc. の装置** - テラダインの昇降装置は、テラダインの従業員しか使用できません。ただし、テラダインの担当者から事前に承認を取得している場合についてはこのとおりではありません。

### 熱加工作業の実施許可

- ◆ **実施許可の要件** - 溶接や切断、裸火の使用といった特定作業の実施許可が必要な場合は、テラダインの担当者に相談する必要があります。

### 足場

- 足場は安定した土台に対して垂直に組む必要があります。
- 足場で作業するすべての作業員は、使用する足場に特化した危険とあらゆる危険の性質 (電気、落下、落下物など) を見極めることができるよう、当該分野の有資格者から研修を受ける必要があります。
- 移動中の足場には乗らないものとします。足場を移動する前に、工具と資材はすべて排除するか、足場板に固定するものとします。
- 作業員は足場や手すり、中間手すり、ブレースに登ったり、そこからリギング作業を行ったりしてはいけません。

### ロックアウト/タグアウト

- ◆ 機械や装置の点検、メンテナンス、修理、組立、設置を行う建設請負業者は、予期せぬ動力の放出によって負傷を招く恐れがある場合、ロックアウト/タグアウト手順を実行する必要があります。
- ◆ 建設請負業者は、ロックアウトが求められるあらゆるタイプの作業において、持ち込みのロックとタグを使用しなければなりません。
- ◆ ロックアウトが必要な動力源として、電源、熱源、水圧、空気圧、機械等が挙げられますが、これらに限定されません。危険を伴う可能性のあるすべての動力源を遮断し、ロックしてタグを取り付ける必要があります。

- ◆ ロックアウト/タグアウトのデバイスは、取り付けただけのみが外すことができるものとします。
- ◆ 高圧作業や熱加工作業は、有資格の電気主任技術者のみが実施できるものとします。

## 個人用保護具

- ◆ **保護メガネ** - 以下の作業を実施する際は、テラダインの施設における掲示に従い、保護メガネを着用する必要があります。
  - 掘削、のこぎりによる切断、粉砕、研磨、ワイヤーブラシによる研磨、削岩
  - レンガやコンクリートの粉砕
  - チゼルやドリフトピンなどのハンマー打ち
  - 加圧した装置や通電した装置の取扱い
  - 爆発力を使用する工具の操作
  - 眼に危険が及ぶ可能性のあるすべての作業 (破片が飛んでくる可能性のある建設現場など)
  - 化学物質の取扱い (場合によっては、化学物質対策用ゴーグルが必要)

(該当する場合) 作業エリア内にある最寄りの洗眼器/安全シャワーの場所を把握しておく必要があります。

- ◆ **落下対策** - 手すりの付いていない高さ **3 フィート (約 91cm)** 以上のプラットフォームでは、安全ベルトと命綱 (落下対策) を装着して使用しなければなりません。屋根の端から **3 フィート (約 91cm)** 以内の場所で作業する場合は、落下対策を施す必要があります。
- ◆ **足の保護具** - 安全靴の着用に関する標識が掲げられているすべての作業場では、安全靴を着用しなければなりません。また、既知の危険 (化学物質、電気、中足骨の曝露等) から身を守るため、さらに厳重な装備で足を保護する必要があります。
- ◆ **ヘルメット** - 頭上作業を行う場合、また、作業エリアの下や周辺が「ヘルメット着用エリア」に指定されている場合は、ヘルメットをかぶる必要があります。
- ◆ **耳の保護具** - 騒音レベルが **90 デシベル (dBA)** を超える場所では、イヤーマフや耳栓といった耳の保護具を使用する必要があります。
- ◆ **呼吸器の保護具** - 噴霧/ガス/ホコリによる危険やその他の呼吸器系の危険が伴う場合は、呼吸器の保護具を使用する必要があります。呼吸器の保護具として、保護マスクや防塵マスクがあります。建設請負業者は、対象となる作業者の記録を付けておかなければなりません。
- ◆ **換気** - テラダインの施設内で噴霧または臭気を発生させる工具や装置 (ガス圧縮機、プロパンガスフックリフト等) を使用する場合は、換気装置またはそれに類する方法を導入して、その影響を最小限に抑える必要があります。かかる装置の使用に先立ち、テラダインの担当者より許可を得なければなりません。
- ◆ **溶接** - 燃焼作業や溶接作業を行う場合は、適切な遮光を施した溶接ゴーグルやヘルメットを着用する必要があります。エリア内にいる従業員と歩行者を溶接に伴う危険から守るため、必要な対策を講じるものとします。

## 屋根ふき/床仕上げ作業

- ◆ **資材** - 臭気、蒸気、煙を発生させる資材 (加熱したタール、接着剤等) を使用する前に、当該エリアにあるテラダインの空気処理装置をオフにし、吸気口を覆う必要があります。テラダインでは利用可能な建物換気装置および排気装置をすべて提供しますが、テラダインの担当者の指示に従い、建設請負業者が用意した空気処理装置も同時に使用するものとします。